

# 林業を知ろうマップ

みなさん、「林業」と聞いて何を思い浮かべますか？

林業とは、山に苗木を植え数十年かけて私たちが使う材木を作る仕事です。

ここでは、その林業を身近で感じてもらいたいと、「木の収穫」の流れを簡単にまとめてみました。林業とはどんな仕事なのか、見て、触れて、感じてください。

この森の木を自由に考えてみよう！

この木は何に使えるかな？

一番太い木はどれかな？

## ⑤木を使ってみよう

この森で伐採した木を使って、いろんな物を作ってみました。全部、みつけれられるかな？

森林学習展示館には、木のおもちゃもあるよ！

## ④間伐ってなに？

「間伐」とは、農作業で言う「木の間引き」の事です。

「間伐」は、木が太く育つために、隣の木との間隔を空けて木が育ちやすい場所を作ってあげる大切な森のお手入れです。

列状間伐

列状間伐

大きな機械などで、伐った木を運び出しやすい。作業効率も上がるため、現在では主流。



点状間伐

バランスのいい木が育つ、昔ながらの方法。でも、伐った木を運び出すのが大変です

## ①森の木を調べる



林業の基本は「森を知ること」。その森に、どんな木がどのくらい生えているのか、木の太さと高さなど、在庫を把握しておく必要があります。

## ③木のゆくえ



切った木は、その種類・長さ・太さで使い道が変わります。短い木は薪などに使われ、長い木は主に住宅の材料などになります。

## ②木を伐る

材木が必要になったら、木を伐ります。それを「伐採」といいます。ここでは、今と昔の伐採を比較してみましょう。

昔 ノコギリと斧で伐る



▲斧で伐った伐り株はザクザクしている。

この木を伐るのに、15分かかりました。

現在 チェーンソーで伐る



5分以内で伐れます。

みつけてみよう！チェーンソーの伐り株はどんな形をしているかな？

点状間伐

ここからスタート！  
5つのポイントを回って最後は自分で考えてみよう！！

コテージが目印だよ！